

中心地域整備に関する調査特別委員会（第17回）

日 時 平成29年4月19日（水）

13:00～15:40

場 所 議会棟 議場

出席者 委員長、副委員長、委員9名（欠席：なし）（傍聴者：1名）
説明員 中村副町長、久城農林課長、木下企画課長、実延専門監、島山主幹、
一色正美氏（道の駅駅長代行）
丸山教育長、安達次長、段塚室長、榎尾主幹
書 記 井川主事、岩崎事務局長

○山本委員長 ただいまより、中心地域整備に関する調査特別委員会を開会いたします。年度が替わり職員の異動等がございました。29年度初めての委員会となりますので宜しくお願いいたします。本日は「道の駅にちなみ日野川の郷」事業計画及び収支予算について、また社会体育館建築について等の調査を予定しておりますので宜しくお願いいたします。なお社会体育館につきましては、教育課の所管の事業でございますが総務教育常任委員会の所管となるところでございますが、教育ゾーンという位置付け中心地域整備における構想におきまして教育ゾーンという中の一部の事業でもございますので、村上議長、丸山教育長とも協議の上この委員会において調査を行いたいと思いますので宜しくお願いをいたしたいと思いますが、いかがでしょうか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○山本委員長 そうしますとこの社会体育館につきましては、中心地域整備に関する調査特別委員会におきまして調査を進めて参りたいと思います。そういたしますと中村副町長ごあいさつをお願いいたします。中村副町長。

○中村副町長 皆さんこんにちは。今日は中心地域整備に関する調査特別委員会の第17回ということでお世話になります。よろしくお願ひしたいと思ひます。委員長が申しましたように本日は、平成29年度における道の駅の事業計画並びに予算ということでご審議いただきますのでどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。既にご案内のことと思ひておりますけれども、駅長の方が委託会社のMAサービスの方の人事内部異動がありまして、新しく4月から本日皆様方に一目ご覧いただきたいということで

同席させていただいておりますけれども、私の方から紹介をさせていただきたいと思っております。お名前が一色正美さんでありまして、1962年生まれで神奈川県のご出身であります。色々経過がありまして、昨年江府町の道の駅の方で4ヶ月間ご勤務されておりました、その後日南町の道の駅の方に10月から勤務をされておりました、本年の4月から駅長代行という職名の方でご勤務いただくということでもあります。10月からお越しいただいておりますので、私たちも若干承知はしておるところでありますけれども、今回駅長代行という事の中で大変な重責であるということを確認しておりますし、着実に頑張っていきたいということと労を惜しまず勉勵をしていきたいと思っておりますので、ご紹介をさせていただきたいと思っております。なお駅長代行という職名になっておりますけれども、会社の方にお聞きしますと彼も町内の出身者ではありませんしなかなかこれからの方であるので会社として少し遠慮気味な捉え方の中で代行という形をとらせていただきたいということを知っております。なお道の駅の権限につきましては、駅長としての権限を付与しておると確認しておりますのでご承知おきいただければと思っておりますので、皆様方もどうぞよろしくお願ひしたいと思っております。なお道の駅の関連で若干報告になりますが、4月14日に道の駅の運営委員会なり経営者会議を行っておりますし、また昨日は出荷者協議会の方の総会をされておりました、その中の研修項目として道の駅の高野の方から講師としてマネージャーの井上さんという方に来ていただきながら一緒に勉強会をしておるという状況ですので報告をさせていただきたいと思っております。ちょっと話が変わりますが議員の皆さん居られますので、若干道の駅とは違う形の報告を2点程させていただきます。まず第1点は、4月16日に生山の分譲地の関係であります、現地説明会を行っております当日3組の家族の方がお越しいただいております。それと併せて今日現在ですけれども、その3組の方が土地の関係の申請を提出していただいているという事での報告をさせていただきたいと思っております。全体が8区画を出しておりますので8分の3の方の申請があっていると思っております。早い方でありましてまだ計画段階ですのではっきりとは申し上げませんが、夏近くになると若干の建築が始まるというようなご計画も聞いておりますので、少しずつ下側の方に建物が建つと思っております。2点目ですが、今年度の一つのメインでもありますタクシー助成の件であります、現在の申請者数が223人ということを知っております、予算上1,200ちょっとの予算額を上げておりますけれども、

その率からいきますと大体18%ぐらいの方が今申請の方に来ていただいているという事
の状況でありますので報告をさせていただきたいと思います。報告は以上でありま
す。本日もどうぞよろしく申し上げます。

○山本委員長　　そうしますと一色駅長代行。

○一色駅長代行　　こんにちは。弊社株式会社 MA サービス本社より4月1日から道の
駅にちなん日野川の郷の駅長代行ということで任を受けました。道の駅に努め始めて
から半年経ちまして、私もまだまだ勉強不足でその中こういった重責な役をいただい
て本当に身が引き締まる思いであります。4月から新体制になりまして、今まで1年間
築き上げてきたこの土台を今度はしっかりと柱を建てて道の駅の発展のために頑張っ
ていきたいと思っています。それからスタッフも本当に一生懸命仕事をしてしてくれてい
まして本当にいい雰囲気です道の駅内部の方はやっています。是非皆さん道の駅に来て
いただいて食事、買い物をしていただきたいと思います。どうぞよろしくお願
いします。

○山本委員長　　そうしますと一色駅長代行につきましては、これにて退席をしてい
ただきます。ありがとうございました。そういたしますと調査協議事項1、道の駅に
ちなん日野川の郷事業計画及び収支予算についての説明をお願いいたします。実延専
門監。

○実延専門監　　失礼いたします。4月より地方創生専門監を拝命いただきました実
延でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。早速でございますが、タブレッ
ト3ページをお開きいただきたいと思います。道の駅にちなん日野川の郷平成29年度
事業計画書としまして、前回3月定例会におきまして提出させていただいたわけで
ございますが、その折にご指摘いただきました内容を踏まえこの度改めて提出をさせ
ていただくというものでございます。なお前回より変更となりました点につきましては、
赤字でお示しさせていただいております。ご了承ください。それでは3ページのとこ
ろ内容につきましてですが、昨年度のイベント実績等を踏まえまして食を中心とした
イベントを展開するという事の内容でございます。4ページに移りまして、これも食
に関してなんですレストランのメニューにおきまして、よりお客様の声を反映させ
る他以前よりお話いただいております環境貢献型商品としましてですが、5月より1
品1円の形で運営したいということで予定されています。大きな変更点でございます。
それからタブレット6ページをご覧いただきたいと思います。直売所の収支計画で

ございます。前回ご指摘いただいております水道光熱費につきまして、この度年度末から年度当初にかけて小メーターによる管理を徹底いたしまして、直売所分とレストラン分の使用割合による住み分けを整理いたしましたところでありまして、経費につきましては数回検針を行いまして按分整理した結果を踏まえて、前回お示ししました321万円から201万円へ修正させていただいたところでございます。また運営委託料の税込み200万円の減額分につきましては、下段の営業外収益という欄に2,007万7,000円を表記してございます。前回は2,192万9,000円でしたが、それから2007万7,000円へ修正を行っております。税込み価格でトータル2,168万3,000円でございます。続いてタブレットの7ページをご覧くださいと思います。先程ご覧いただきました収支計画につきまして月別にお示ししたものでございます。水道光熱費並びに運営委託費あたりを精査いたしまして、合計額は一番右側をご覧くださいければと思いますが、先程の表の合計がこちらに一番右側に表記をしておるという見方でございます。続いてタブレットの8ページをご覧くださいと思います。収支計画のうち売上額に特化した表でございます。3つの枠で囲っておりますけれども、左側は昨年度当初計画、真中の枠ですが昨年度1月末までの売上、一番右側の枠が今年度の売上計画でございます。表示は税込みで整理を行っております。分類については、現在の運用しておりますPOSレジシステムで登録される区分での管理が今後も合理的ではないかという中で、今年度以降一番右側の中分類と掲載されております分類で整理していきたいと考えておるところでございます。続きましてタブレット9ページをご覧くださいと思いますが、資料がA3サイズだったものですから別紙でお手元にご用意させていただいております。上段から主な行事、一般的な販売促進の内容、昨年度イベント状況、町の行事内容、一番下が今年度の計画をお示した表で構成しております。字が小さくて申し訳ございません。冒頭の事業計画を元にイベント予定を入れ込みました他、枠外の考え方や留意点に沿って計画立てをされています。なお内容としましては食を中心としたもので構成されているところでございます。また17年度の実施イベントの4月欄でございます。たまたま本日がプレスタートということでお聞きしておりますが、レストランの運営につきまして第2水曜日を除きます毎週水曜日釜焼きピザを販売して、レストランの高率化かつ運用を行っていきたいということで聞いておるところでございます。続きましてタブレット10ページをご覧くださいと思います。

○山本委員長 専門監、ここまででとりあえず説明をして質疑を受けたいと思います。

○実延専門監 失礼いたしました。

○山本委員長 そういたしますと今説明をしていただきましたが、ここまでで質疑意見がございませうでしょうか。大西委員。

○大西委員 収支計画直売所と書いてある表を見てください。28年度計画、29年計画で、ここで経常損益が計画の段階からマイナス65万2,000円となっておりますが、これは町長はご存知でしょうか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 基本的に29年度の計画につきましては、3月の中の移動、光熱水費あるいは営業外収益の関係で整理したものでありますので、その前段の段階では町長も承知しておりますので、単純に数字を組み変えただけというふうな整理の仕方しておりますので、特別これをもって決裁を取ったというわけではありませんので、基本的なところは理解されていると思っております。ただ、あくまでも計画でありますけれども、基本的な捉え方とすれば特に今回29年度につきましては売上を更に今の5%の実績に対して5%売上を伸ばすというところを原則的に目標値にしておりますので、その中で最終的には65万2,000円のマイナスの数字もありますけれども、これを黒字の方にとり基本的な捉え方をしておりますが、現時点での計画では前回お示した内容の中を基軸にしながら2ヶ所を精査したものだと思っております。一般的な話にもなるかと思っておりますが、やはり道の駅の2年目というところはやはり厳しいというところがあるようですし、昨日の話の高野の方も実際には2年目4年目というのは前年対比からいきますとマイナスというような状況もありますので、そういったところも踏まえながら少し硬めなと言いましようか、堅実なというような計画を基軸にして伸ばすところは更に伸ばしていきたいというふうな思いの中での数字ですのでご理解いただければと思います。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 私は町長がご存知ならばいいわけです。町長はあくまで施政方針でこの委託料2,100何万を入れて利益確保ゼロを目指すと言っておられるわけです。町長がこれでマイナス税込みでいくと70万4,000円を町長が認めたらそれでいいんですよ。だから私はあえてそれだけ質問したんですよ。そんな言い訳はないです。町長がご

存じであって町長が承認したという事が聞ければいいわけです。だからこれが目標になるわけですよ。そして尚且つ次の方針は町長は年度で利益確保ゼロを目指したいということをおっしゃるので、それはこれから努力されたらいい。だから町長はご存知ですね、この数字は。再度聞きます。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 はい。掌握しております。

○山本委員長 その他ございますか。ないようでしたら。久代委員。

○久代副委員長 基本的なこの考え方として、確かに道の駅が全国的に2年目のジंकスという文言でも触れられておりますが、普通は確かにオープン時の賑わいを何とか維持していくという努力を、あまり高く目標を設定するのめどうかということもあるとは思いますが、対前年比この計画で1,851万9,000円金額を減らされているということがどうなのかなという点がまず一つ。それと次のページのこの販売目標ですよ。8ページの生鮮野菜等と米これが純粋に加工品の中にも一部含まれるとは思いますが、昨日もあった出荷者協議会の皆さんが出荷される、もちろん食品以外の木工品もありますけれども。純粋に日南町の生産者が出荷される金額をちょっと分りやすく出して欲しいと思います。このページの中に資料があればですけども、今説明された中では町内の生産者がいくらどれだけ出荷されるかということを示していただきたいと思いますが。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 前段のお話であります、先程申し上げましたように若干低めと言えはおかしいですけども、昨年度から言えば低めの数字にはなっておりますが、ただ内容を精査してみますとやはり昨年よりも伸びる余地というのは沢山あるのではないかなと思っておりまして、運営会議も行いましたという報告をさせていただきましたけれども、やはり町内の生産者の皆さんの搬出先あたりの動きも若干変わってきていると思っております。そういう環境が出来ていると思っておりますので、そういう点だとか或いは昨年場合は特に野菜の4品目がありますね、主要4品目、推奨4品目ありますけれどもそういったところを農協さんからの仕入れというのも当初計画しておいたわけですけども、なかなかそれが実行に移せられなかった。全てじゃないですけども、そういうことをやはり今年度は伸ばしていきたいという考え方がありますので、数字上どういいますか販売量というところでいきますとかなり伸びる余

地があるんだろうと個人的には思っております。それと2番目の件であります、今年度の実績見込みの話ですが、今までの利上げのものを見てみますと野菜なりお米なり或いはドレッシング部門だとか木工品関係がありますけれども、町内の皆さんというのは大方この数字の95%以上は出荷者協の皆さんによるものだと認識しておりますので、ほぼここにあげている数字が丸々とは言いませんけれども、ほとんどの方が町内の皆さんの出荷者協を経由した品物だにご理解をいただいても結構かなと思っております。

○山本委員長 久代委員。

○久代副委員長 という事はこの分類別で合計7,800万の売り上げの計画があるわけけれども、例えば肉類ハムソーセージとか酒類。酒は外部に醸造委託しているということもあるわけけれども、米は山上の例えば500万石を使ってということもあるわけけれども、純粹に私が聞きたいのは本当に生産者が155名団体の方が出荷者協議会に入られているわけけれども、全体としてこの出荷を純粹に町内の生産者が作った部分がどうなのかという数字もきちっと把握しておきたいなと思っておりますので、そのことを示していただきたいと思っております。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 ちょっと説明不足だったかもしれませんが、項目で申し上げますと29年度の売上計画の中の大区分の生鮮野菜等というところ、その内の果物というところは若干マイナスの部分もあるかなと思っておりますが、それとお米についてそれとその他の中が一番下の工芸品・木工品・雑貨という区分があると思っておりますが、そこについては先程申し上げましたように町内の皆様がほとんどだろうと認識しております。いずれにしてもきちんとした年度末整理が出来た段階では、出荷者協あたりの金額というのを示していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。

○山本委員長 よろしいですか。大西委員。

○大西委員 計画の内訳の中なんです、大きく昨年実績に比べて倍のところもございます。特に加工品それから米も約260万に対して710万ということで倍以上です。実はここでPOSの関係で農林課の方から予算が出ておりますけれども、道の駅の売上客数アプリのアップデートとかEVIシステム、J-VERの関係ですね。まずJ-VERはシステムとして何がいるんですか。それが見えません。システムってどのようなこ

とがいるのか。J-VER として。J-VER の管理はどのような管理をされているんですか。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 結局今 EVI の方、このシステムにつきましてはカルネコさんを通じて販売させていただく、町が直接出来なくはないと思いますけども現在そういう契約になっておりますので、そこへの支払い委託料というような形で経費が現在は発生しておる状況であります。ただ将来的には今ご指摘の通り単独でやっていくということは出来なくはないかもしれませんが、ただなかなか言いましても町で相殺するという見かけの数字だけの調整は出来るのでしょうか、それを今度は更に企業等への販売云々かんぬんという事になってまいりましたら、そういったような形で手を借りないと難しいのではないかと理解しております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 カルネコさんも結構3、4年されておるわけですね。インターネット見ても全国からいろんなことをやっておられます。今回は道の駅をやるためにするためにいろんなアドバイス、次言いますけども POS のこともしていただいているわけですね運営で。なのにまだこうやってお金がいるのか。前年度その前の年いくらお金を使ってこうやって、J-VER で4、50万の寄付をいただくのに何百万使うんですかと。本当に役立っておるのでしょうか。後で書いてありますけれども、森林組合の事も書いてあります。J-VER 全く売れていない。これは全部無償ですよという形です。本当にカルネコさんの支援、予算の方でアップデート100万、あと3人が1週間東京から来る費用を50万みておられる。本当にまだいるんですか。本当に役立っているんですか。去年は CO2 の計算がおかしかったですね。だから本当にカルネコさんがやらなければならない、それから EVI 推進協議会って確かそのような名前の推進協議会あったと思うんです。それも運営されておるんですか。トータル EVI 関係、POS の関係、それのご答弁をお願いします。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 EVI 関係の協議会というのは現在もされていると思っています。カルネコさんとの関係につきましては POS レジの関係もあつたりもちろんしますし、それから経営会議あたりでも若干のご助言はいただいたり、或いは基本的には POS レジの内容を順次お願いをしたりという形を取っておりますので、若干今年は下げておりますのでという事と、あと情報発信と言いましょうか EVI 関連を含めた形での情報誌

の発行の情報発信をしていただいたりとか、そういう形をとっておりますので、全体的には少しずつ縮小しながら特にいつとは申し上げにくいかもしれませんが、POS レジあたりは本当に完成時まだ2年目になっておりますので、更に必要なものというのを必要があればまたお願いをしていきたいなと思っておりますので、そういったことも含めてトータル的にお願いをしておりますのでご理解いただければと思っております。昨年はかなりの数字と言いましょか金額的には上がっておりますが、今年ちょっと数字を覚えておりませんがかなり下げた形での委託の内容にしておりますので、段階的な年度ごとに縮小していきたいと思っております。以上です。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　一つそのカルネコさんの関係の環境貢献という事で、カルネコさんからスタートした年、3年ぐらいかかりますけれども年度ごとの予算とどういうことをやってきた、EVI 推進委員、それから J-VER の事、今までの実績ですね。その辺をちょっと整理していただかないとポツポツ点々で言われるとわからないんですね。本当に EVI の推進協議会をされておるんですか。28年度は。まずそこだけ聞きます。いつされましたか推進協議会は。

○山本委員長　　中村副町長。

○中村副町長　　私の認識では町ですということではなくて、カルネコがとえばおかしいですが EVI 協議会というのは全国的な組織のイメージでおりますので、その中でカルネコさんが担当で今やられておると認識をもっておりますので、その中の活動はもちろんされていると思っておりますので、情報提供の中で例えば EVI を作っている今回道の駅でカーボンオフセットの施設だとか、そういった形 FSC を使うとかそういったところの木を使った道の駅あたりは日南町が初めてですよという話もありますけども、全国レベルでいきますと同じような捉え方が取手市だとかそういうところもありますので、そういった情報提供をいただきながら連携をこれからしていけば良いんじゃないですかというようなご提案をいただいているので、いろんな形の中でご支援いただいていると認識しております。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　昨年ですか質問したときに、EVI という事で同僚議員も言われた時に、1円も5円もある20円のシールもあるよと。そういうこともあるのかなと。そういう事が EVI の推進委員会でそういうメンバーも居られますよと。その取りまとめを委員長

は誰か知りませんよ、議長か知らないけれど、されとるわけでしょう。それで質問しとるわけですよ。だから全国番はいいですよ。日南町として EVI の推進協議会があるわけでしょ、ないんですか。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 今ご指摘のございました日南町版のものはございません。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 そうしましたら、5円とか20円のシールを見ましたけども、それはどこが発行しておるんですか。どこが管理しておるんですか。J-VER はどのようにしておるんですか。それのお金はどこがどうっておるんですか。

○山本委員長 島山主幹。

○島山主幹 例えば環境貢献型商品の1円、5円とか会社の方で決められます。その1円単位とかそういった単位での販売というのがなかなか難しい為に、EVI 推進協議会が1円からでもオフセット出来るようにという事で立ち上げられたのが EVI 推進協議会だったと記憶しております。なので、EVI 推進協議会というのはカルネコと三菱UFJ リースだったかと思えますけども、そこが中心となって活動されておる組織でございます。以上です。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 どこが日南町としてですよ、道の駅以外に日南町としてその推進協議会にお金を払っておるんですか。EVI の寄付金を道の駅以外に。前シール見ました5円とか10円とか20円のシールありましたね。そのお金はどう誰がいただいて、どう持って行っておられますか。

○山本委員長 島山主幹。

○島山主幹 基本的にはどこの J-VER を使うかという事は、購入者さんが決定をされます。そこを EVI が J-VER の仲介も出来ますので、例えば山とかから J-VER を購入されてそれを環境貢献として1品1円だとか5円だとかを付けて商品化しておるといふ状況でございます。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 日南町で J-VER を道の駅で落ちました、20万ありました。1円を。それ以外に日南町で5円10円のシールを付けて販売されておるんでは。EVI のメンバーは。日南町の中で1円以外のシールを付けて販売されている方、日南町におられる

んですか。

○山本委員長 島山主幹。

○島山主幹 現在町内では3社ございます。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 その取りまとめはどこがしておるんですか。とりまとめ。

○山本委員長 島山主幹。

○島山主幹 全てカルネコさんを通じてのものだと記憶しております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 以前、2年前にそのお金の流れ、寄付の流れの表が出ました。その流れを疑問に思っておったんですよ。でもいま日南町に5円10円の方おられて、直接カルネコさんですか。町はかんでないんですか。それで J-VER は任すんですか。どこの J-VER やろうが。日南町に寄付いただいた J-VER は日南町の J-VER を買うんですよ。どうなんですか。

○山本委員長 島山主幹。

○島山主幹 全ての会社が日南町の J-VER を購入していただいております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 J-VER の管理のために EVI システムを活用したカーボンオフセット管理ということで農林課が予算計上されておるわけですよ。それを質問しとるわけですよ。それだったら初めからカルネコに渡したらいいんですよ。お金を通帳から。何も管理する必要ないですよ。でしょう。何を管理するんですか。道の駅1円は出ますわね、レシートで出た1円は全部処理されとるでしょ。それだけでしょ道の駅は。あと5円10円されているところ今3社と言われましたね、それは町内の方ですね。そのお金はカルネコさんに直にいとるわけですね。その J-VER の寄付金は日南町の J-VER を買うわけでしょ、森林組合じゃないですね、日南町の町が保有している J-VER を買うわけですね。だからいいんですよ、システムいらんですよ。どうなんですか。何がいるんですか。

○山本委員長 大西委員の質問の趣旨はこのアプリのアップデートにかかる費用が必要かどうかという趣旨だと思います。その点についてお答えをいただけますでしょうか。中村副町長。

○中村副町長 道の駅の売上と客数のアプリのアップデートを行いますという表現

にしておりますので、基本的には道の駅の販売なりを中心とした内容のものいわゆる POS レジの数字を管理と言いましょか、いろんな分析も含めてそういったことをお願いしているということですのでご理解いただければと思います。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 この問題が出たのはおそらく、4月から実際に運営されて9月末まで半年ですね。この予算計上されたのは12月ですね、見積もりをとられたのが。という事は問題点がもう8月9月で分かっているわけですよ。でもなんでカルネコさんが POS レジの事を町にアドバイスしているのに、いろんなところで経験されている技術があるわけでしょ。もう半年でおかしいと、どういう問題点があってどのようにするのかそれを把握されていますか。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 今ご質問いただいております、首都圏向けの情報発信にかかる森林育成活動企業誘致にかかる委託料、それが400万ありまして、その明細についてはちょっと確認をさせていただきませんか。今にかかっているご質問の件でいくら、いわゆるアップデートを行う件もありますし、その明細を。

○山本委員長 それは資料が出ています。予算審査の中で出ています。300万円と100万円合わせて400万円の予算を計上されております。

○久城農林課長 改めて確認させてやっていただきたいと思います。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 あえてここで言います。POS のコードナンバー今まで10番20番30番とありました。今度は3桁も増えます。いいんですそれは、分析は。この分析されたやつはこの中分類でいいんですよ。それでいいんですよ、分析するのは。そしたら遡って28年度その数字に入れ替えてそれを見ないと、また変わりましたちょっとおかしい、また来年変えましょかとしたらわからないですよ。だから一番最初の年におかしいと思ったことははっきりと明確にこういう問題があるからこう変えるんですよしないとまたいますよ。こういう問題があったんだと、それと協議した上でやっぱり改善しないといけないなど。改善はいいんですよ。その問題点がはっきりしてその対策が本当に打てたらいいですよ。また問題になった、毎回変わりますよ基準が。だからこの表をせつかく作っていただいて、ものすごい大事なデータです。野菜分類でトマトとかピーマンとか全部書いてあります。これをコード番号中分類したら何番に

なるか。これを対比してすぐにわかる事です。そういうことをしないと急にここで中分類で29年度からこうしました。初年度とはリンクしません。これが経費計画と一緒になんですよ。勘定科目がわからない状態で上にいたり下にいたりしておるから混乱したわけですよ。初めからこのように中分類でコードナンバーをすれば誰でも経理が出来るわけですよ。基本を言っとるんですよ。だから今大事な事、こういった計画をされた、予算の見積書も出ました。そのためには何が問題であったかはっきりわかっておるはずですね。我々この金額と項目しか分からないんですよ。何が問題で400万、そのうち100万はシステムのアップデートだよと。POSの。もうちょっと中身を綺麗に出して問題点は何であって、こうこうしますということをお願い致します。よろしいでしょうか。まずそれ。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 この表につきましてであります、28年度の売上計画につきまして最終的にはPOSレジを利用するところでの計画は決まっておったわけですが、内容的な区分精査の段階では28年度の売上計画に上がっておる内容につきましては、やる中で数量的なこともあったりするんでしょうけれども、実際に生産者が入って販売していく中でやっぱり分類を変えていかなないとなかなか管理が難しいという事もありまして、実際の運用方法につきましては前半の方からこういう形を取っておりましたけれども、ですから28年度の売上計画の段階とやっぱりやってみて分析の仕方も含めて、今29年度の売上計画にあげておる区分を大区分、中区分という形で整理をしないといけないではないかということで進んできておりますので、そういった意味での過程の中で食い違いといえればおかしいですけども、内容はあれですけど経営上の分析あたりの関係でいきますとこういう形がいいんじゃないかということで動きが変わってきておるのでという事でご理解いただければと思います。なお、30年以降につきましては当然今の29年度の売上計画の中での区分で同じような形で整理をしていく予定にしておりますので、その中で確かな分析をまたやっていきたいと思っております。以上です。

○山本委員長 大西委員、続いてですか。大西委員。

○大西委員 せっかくデータが出たということは、水道光熱費のデータ、小メーターを付けて1ヶ月間されました。この29年度の予算が2万1,000円となりました。レストランの電気代はいくらだったんでしょうか。要するに201万が、これは今度直売所

でしたね。これをしない場合のレストランにいくら電気代がかかったのか教えてください。

○山本委員長 島山主幹。

○島山主幹 3月6日、10日、4月6日で小メーターの検針を行いまして、前回ご指摘いただきましたレストランと直売所が一緒になっているということで分けた結果、再度光熱水費を試算いただきまして、直売所にかかる光熱水費が201万円、レストランにかかる光熱水費が152万3,000円ということで報告をいただいております。以上です。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 先程中分類という話が出てきましたけれども、分類部門110番の配送料、その次に虫と書いてありますね。これは何でしょう。昆虫、虫という意味を教えてください。

○山本委員長 木下企画課長。

○木下企画課長 これは分類の中でその他の部分に属するものとしてカブトムシであるとか、そういったものを売られたという意味で昆虫の商品という意味です。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 そうしますと生鮮なんかを売っているところでカブトムシを売ることですか。外で売ることでしょうか。

○山本委員長 木下企画課長。

○木下課長 直売所店内で当然衛生的な部分は配慮しながら虫を売っていらっしまったということでございます。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 衛生上それが出来れば良いとは思いますが、ちょっと検討をしてください。もう一つ生鮮野菜等の分類の中で、例えば山菜とかいうのはどれに入るのでしょうか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 30番の葉菜類に類すると認識しております。タケノコはたぶん10番の根菜類だと思っています。

○山本委員長 荒木委員。

○荒木委員 そしたら山菜もこの中に入っているということですね。別に分類して

いなくてもこの中に含めてあるということですね。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 年間計画の表で町の営業収益の中で管理費が全て平均で出ています。2,000万を12ヶ月で割った。これは毎月支払われるんですか。今年度は。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 この表はMAさんが毎月の売上状況を確認するがために、こういったいわゆる年間分を12ヶ月で割ったということでの整理の仕方の表ですので、実際の支払いにつきましては違う形と言いましょうか。概算払いで2回の支払いをしておりますので、最終的には精算というところもありますので、そういった実際の現金の支払いの日とこの表とは若干違うということでご理解いただければと思います。いわゆるMAさんの会社の中としてのこれぐらいの予定だよということでの毎月の数字に転化して、1ヶ月あたりの毎月のイメージ作りということでの表でありますのでご理解いただければと思います。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 委託契約については年度末で50日以内に支払うということが委託契約書の中に書いてあったと思うんですが、修正するならばいいし、MAさんとの協議の中であれば良いんですけれども。あとですね、実績は毎月されるようになりましたね、実績確認はそれは必ず当面の間は議会の方に出していただけるのでしょうか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 出すという事も可能かなと思いますけれども、遅れ遅れというのが最終的な会社としての決算でありますので、遅れ遅れで良かったらそのような形をとらせていただいてもいいですが、基本的には何ヶ月単位でという事で報告をさせていただければと思っております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 私は去年の年度末の色々ごちゃごちゃありました。やはり最初の4、5、6、3ヶ月見ればあとはずっと流れるわけですよ。そんな難しくないじゃないですか。今POSレジも出来ておるし、手で書くんじゃないにそろばんするんじゃないに、そんなに難しい事でしょうか。そんなに時間かかりますか。日々あれば出ますよ。そんなに難しい事はない、これぐらいのレベルであつたらと思いますよ。どうなんですか。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 単体でものを考えるとたぶんそうだと思いますが、会社とすれば他の事業もやっておられますので、そのトータル的なところの中での経理も含めてもちろんされておりますので、そういった意味では多少の所要の時間が必要だろうと言われておりますのでそれに従うしかないかなと思っておりますが、ただ実際には現場の方で概算の数字的なところは把握されていると思っておりますが、ただ公のきちんとした数字というところになると当然会社全体の中の数字で仕分けをしていかないといけないと言われておりますのでご理解いただければと思います。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 その他にも今度は本社の全面的なバックアップと書いてあるんですよ。本社の最終決算、月次決算ではない年度末なのはそれは分りますよ、そんなことは。早く答えを出さないと手は打てないんですよ。2ヶ月3ヶ月出してからやったら、そんなの遅いですよ。春のことを早く出さないと、民間はそこですよ。民間ノウハウを導入するのはそこが目的なんですよ。3ヶ月後なんかでは手打てませんよ。だからそこをお願いしたいんですよ。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 実際に今お任せしているのが民間の MA サービスでして、前駅長に聞いたところによりますと色々問題も実際にはあるようです。例えば具体的な例で言いますとその他という形で処理をしておられる出荷者がおられて、実際にそれは全くその他ではなくて全然違うものであったり、そういったような慣れ不慣れもあって集計を購入後に強制的に修正をかけたかもしれないこと、実際にそれが豆類が根菜類に入ったりですね。そういったようなこともあったりすると聞いておりましたので、そういったような形の修正等々で時間を要するということは言っておられました。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 そんなことじゃない。それだったら言いませんか。999番使うんですよ。判断がつかない場合は、とりあえずは。そういうやり方でやるんですよ。そんなん初めからコード番号で1番台2番台でなんぼでもいけるじゃない。それでおかしいやつは999やるんですよ、大体が。固定資産だってそうです。どっちにも入らないやつは999という数字使うんですよ。これは綺麗に分離出来ないんだとか。どっかと一緒なんだとかね。ということで民間はそういったやり方をやるんですよ。それでち

ちゃんと公認会計士に確認してから最終修正したりするんですよ。そうじゃなくて今その他と言われたのは、経費の中でその他の分類かなと思っていたら出荷者がされている。これはね999とかそういう番号を使えばできるわけです。私が言いたいのは経費計画なんです。いくら売って販売して営業利益が出ているのに、経費がいっぱいいて利益確保ゼロを目指すことにならないんです。だからそこを管理なんですよ。じゃじゃ漏れでしょと。管理をしていただきたいんですよ。そして問題点を明確にして、方向性を付けないとそれこそどんぶり勘定になって何が何かわからない、一生懸命働いているんだけども役に立たないとかなるんですよ。この2,100万が次3,000万いようになりますよ。次の委託料が。それくらいの感じになりますよと言いたいわけです。ですから最初の4、5、6、3ヶ月間でもいいのでサイクルを上げてくださいと。精度を高めろとは言いません。今のレベルだったらこの豆腐や豆類が分からんぐらいのレベルだったらですね、体制にそう影響ありません。1万円か2万円の差だと思います。だから、これ今大事なところですよ、本当に。3ヶ月間流れればあと9ヶ月はさらっといきますから。最初はしんどいですがけれども、初年度大変だったんだからその失敗を活かさないと。出来るでしょう、どうなんでしょう。4、5、6は早めに出してください。

○山本委員長　　中村副町長。

○中村副町長　　3ヶ月間の決算、いわゆる月ごとの決算というのを報告させてもらいたいと思いますが、さっきも言いましたように若干時間がずれたり多少端数が違うということがあるかもしれませんが、そういう形で報告をさせていただきたいと思います。

○山本委員長　　近藤委員。

○近藤委員　　今いろんな形で皆さん方質問されておられましたけれども、その分類の仕方ここに中分類というのがあるわけですけど、先程の山菜についてですけどもいろんな捉え方があって根菜類であったり果菜類であったり、いろんな意味で分類される要素があると思うわけですけども、これは中分類とありますけどその中で小分類たるものは十分検討されているということでもいいですか。

○山本委員長　　久城農林課長。

○久城農林課長　　実際には商品分類まで出ております。ただ今その再集計をしておられる状況でありまして、実は昨日の出荷者協議会でも生産者の方から出荷の参考

にしたいので見たいということがありましたので、おって出てくると思っておりますのでまたその際に提出お示ししたいと思えます。

○山本委員長　よろしいでしょうか。そうしますとここで休憩を取りたいと思えますが、中村副町長。

○中村副町長　色々ご意見いただきましてありがとうございます。もう1点、本日の関係でご説明をさせていただきたいと思っておりますが、以前一般質問等にもありましたけれども、CO2排出関係の整理の仕方ということで若干内部的に整理しましたのでご報告を申し上げたいと思えますし、ご意見いただければと思っております。いわゆるCO2の計算につきましては、それぞれ今住民課と農林課の排出係数が違っておりますというご説明をさせていただいた経過があると思っておりますが、基本的には環境省の方で今住民課が整理をしております日南町地球温暖化防止実施計画で使用している係数というものにつきましては、いわゆる温室効果ガス総排出量の算定方法ガイドラインという基準の中で算定をさせていただいております。また道の駅のカーボンオフセットの関係につきましてはの係数は、同じ環境省が設けておりますカーボンオフセットの対象活動から生じる排出量の算定方法のガイドラインというところの中での算定方法をしておるところであります。従ってどちらかの係数に揃えるということになりますと、もう一方の片方はガイドラインから外れてしまうというようなことにもなっておりますので、また住民の皆さんから見ると大変分かりにくいところもあるのかなと思っておりますので、基本的にはそれぞれのガイドラインがありますのでそれぞれのガイドラインに基づいた算定をさせていただきたいと思っております。なお今後につきましてはそういったガイドラインに基づいた係数を使用しますけれども、計算基礎となる燃料の使用料等につきましては情報共有をして同じ数値を使っていきたいと思っておりますし、また公表する際にはその算出の根拠ガイドラインを明記した形で表記をしていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願ひしたいと思えます。以上です。

○山本委員長　そうしますとここで休憩といたします。再開は午後2時15分からといたしますのでよろしくお願ひします。

(休憩 14:00~14:15)

○山本委員長　会議を再開します。続きまして、道の駅にちなん日野川の郷の運営委員会につきましては、この資料の説明をさせていただきたいと思えます。実延専門監。

○実延専門監　　そうしますとタブレット10ページをご覧いただきたいと思います。去る4月14日午後3時より第1回目となります道の駅運営委員会を開催致しました。この前段には午後1時より道の駅経営者会議を開催させていただいております。その時の会議資料につきまして、経営者会議の資料はこれまでにご説明いたしました平成29年度の事業計画等の資料と重複しておりましたので本日は省略させていただいております。また運営委員会の資料ですが、タブレット10ページから15ページまでを当日の資料として用意したところでございます。内容でございますが、本年度最初の会合でございましたので、委員の自己紹介それから会の目的、道の駅の運営にかかります相関図を共有しました後、直前に迫っております道の駅の1周年記念イベント及び食のバザールについて予定を共有させていただきました。また、本会が昨年度は1回のみの実施という反省も踏まえまして、今年度改めて関係機関が連携をして盛り上げていく取り組みとなるよう確認し合ったところでございます。簡単ですが、以上で説明を終わります。

○山本委員長　　ただいまの説明につきまして、質問ご意見がございますでしょうか。大西委員。

○大西委員　　運営委員会の委員長は誰でしょうか。

○山本委員長　　実延専門監。

○実延専門監　　タブレット12ページをご覧いただきますと本会の設置要綱を載せております。委員は互選によりという事でこの会におきまして、中村副町長を委員長として会を進めさせていただいております。以上です。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　運営委員のメンバーがいろんな所から出ておられます。特に経営するにはいろんな知識を持った方いろんな視野の広い方居られますが、この中で中小企業診断士の免許を持っておられる方は居られますか。

○山本委員長　　中村副町長。

○中村副町長　　すみません。掌握しておりません。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　私もいろんなところで中小企業も務めたことございます。本当にこの道の駅をやる中で経営改善、経営計画とかいった時にきっちりと経営のやり方とか決算の仕方だとか、いろんなことを中小企業診断士、これは鳥取県の方は結構持つてお

られる、特に商法労働部関係の方はこういう資格を結構取っておられます。せっかく日野振興センターの方も居られるので、こういうところのもしくは商工会の中にもいろんな資格を持っておられる方が居られます。私は本当に道の駅を成功に持っていく為には、そういった専門知識を持った方がものすごい重要だと思います。今後そういったことをご検討されますでしょうか。どうでしょうか。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 2回目の会議を6月頃予定しております。その会に合わせてご参加いただけるよう内部で前向きに検討したいと思います。以上です。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 日南町商工会それから日南町森林組合、鳥取西部農協のそれぞれのこれまでの関わりと今後どのように関わりを持って行かれるのか、説明をお願いします。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 基本的には道の駅の運営に対する協力というようなことと合わせて、いろんなご助言をいただくという形の中で会議を進めておりまして、今回につきましても特に例えば森林組合あたりは、去年は林業祭りを道の駅の横を会場として利用していただくとかそういったご協力の確認もさせていただいておりますし、またJAにつきましてもこの間は代理の安達さんにお越しいただいておりますけれども基本的には野菜類あたりの出荷についてのご協力というところだとか、そういったところの再確認なりをさせていただいていると思いますし、4月14日につきましては本当にいろんな議題もご意見をいただいておりますし、またにちなんトマトにつきましては昨年の実績あたりの状況を報告していただくなり、そういった情報共有も含めてこの会を行っております。6月と思っておりますけれども、年間の中では2、3回はあとは行って経営状況のことも踏まえていろんな角度からのご意見を賜りたいという気持ちでおりますので、そういった中で道の駅をさらに交流人口が拡大出来るようにということをご意見をいただきたいという考え方を持っております。以上です。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 商工会との関わりについてはいかがですか。これまでどういう関わりを道の駅構想の当初から商工会と深く関わりを持ってという話はされておりましたが、これまでの関わりと今後の関わりについて説明をお願いします。

○山本委員長 中村副町長。

○中村副町長 商工会につきましては運営的なことはもちろんそうでありまして、またその商工会との直接の関わりというところももちろん内容的にはありますので、そういった視点の中でご意見をいただいておりますし、また個人的なと言えおかしけれど客観的な目線の中でいろんな団体の皆様にもやはりトップの皆さんですのでイベントも含めて或いはレストランの内容についてもご意見をいただいていると思っておりますし、これからもお願いをしたいと思っております。またいろんな角度からイベントも含めて指揮権が高い方が多いので、いろんなことをご意見をいただいていると思っておりますので、活発なご意見をいただいているということだけは報告をさせていただきたいと思っております。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 私が質問しておるのは、委員会での発言とか委員会の議論とかいうことではなくて、商工会がこれまでの道の駅とどういう関わりを持ってこられたのか。今後どういう関わりを持たれようとしているのかについて説明を求めていますので、これまで商工会と道の駅との関係連携等について改めて説明をお願いします。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 直接的な運営面、経営面につきましては余り活発な議論経営に関わってきていただいたというところはございませんが、出荷される会員さんの中には商工会員さんがいらっしゃいます。その方々が特産品を開発するに当たりましてバックアップ等を行っていただき、商工会を取り巻く皆様それぞれ課題を山積していらっしゃいます中では、皆さんがよくなるように特に経営面を補佐されているという認識で間接的な支援という事で認識をしております。以上です。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 会員として出荷品物を供給されたりということは当然あるわけですが、今後より連携を深めていただきたいということは思っております。それともう一つ鳥取西部農協で日南支所の所長を会員にされておられますけれども、日野営農センターはなぜ呼ばれないんですか。農産物に非常に関わりがあるのは日野営農センターなんです。日南支所じゃないんですよ。日野営農センター日南駐在はそこに職員は居ますけれども、日南支所長では農産物の指導なり組合員との関わりというのではないわけでありまして、その辺はいかがですか。

○山本委員長 木下企画課長。

○木下企画課長 先程前段のご質問の中で補足をさせていただきたいと思いますが、道の駅オープンに当たりまして当初春から商工会にも道の駅としても加入をしていただいております、いわゆるオープンを控えての接遇研修でありますとかそういった部分につきましては商工会の方から人を配置していただいております。そういった意味で商工会の支援も受けながら、商工会員としても運営主体として頑張らせていただいているというふうな連携をとらせていただいているということをご報告させていただきたいと思います。また、運営委員会のメンバーにつきましては、当初町内事業所の代表というところで人選をして参っておりますけれども、今ご指摘のありました営農という立場での運営委員会へのご参加というのも有効ではないかなと思いますので、今後メンバーについて再度委員の皆さんとも協議をしながら検討して参りたいと思います。

○山本委員長 その他ございますか。福田委員。

○福田委員 ここでみますと、日南出荷者協議会の会長も入っておりますトマト加工の社長も入っておりますが、朝どれの会長等はなぜ入っていないんですか。朝どれも出荷するでしょう。それなら会長も入れるべきじゃないかここに。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 現在のところは道の駅に出荷いただくのは、出荷者協議会に入らせていただいている会員の皆様という形にさせていただいております。当然両方に入っておられる方もあると認識しております。そのあたりにつきましてはまた皆様のご意見を伺いながら検討させていただきたいと思いますのでご理解いただきますようお願いいたします。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 協議会の意見が出ましたけども、近い将来施設を共有される立場にあるわけでしょう。朝どれ出荷者協議会は。朝どれの出荷施設を道の駅の裏に移すということからすれば当然メンバーに入っておられるべきだと思いますし、私が先程言いました日野営農センター日南支所とは全く農協の中では系統が違います。日野営農センター長なり日南のチーフなり当然入るべきだと思います。

○山本委員長 久城農林課長。

○久城農林課長 併せまして検討させていただきます。

○山本委員長　　その他ございますか。福田委員。

○福田委員　　もう1点答弁をお願いします。観光協会が入っていますね、今度道の駅に。ちょっとこれ場が違うかも知らんだけど、これまでの事務所等々の話が全然違ってきておりますが。いつそういう事を変われたんですか。

○山本委員長　　木下企画課長。

○木下企画課長　　観光協会につきましては、先週4月13日に一応拠点を道の駅の方に移す作業をやって参りました。準備が十分でなかったかもしれませんが、春の行楽シーズン人が動く前には是非とも拠点を道の駅の方に移したいという意向も強く移転をいたしました。3月定例会等でお話をしておりまして、道の駅の情報発信コーナーを拠点としたいということでお話を進めておりましたけれども、現実的に道の駅の運営委託者等とも連携をする協議の中で、出来るだけお客様に近いところでの観光案内がいいのではないかとということで、当面観光案内のカウンターと言いますか案内窓口というものを道の駅の直売所のレジ近くに設けることといたしました。当然当初予定をしておりまして情報発信コーナーにつきましては、24時間対応が出来る部分として観光のパンフレットを日々整備したり、将来的にはそこに事務所を置くというようなことも全く考えていないわけではございませんけれども、運用をしながら効率のいいサービスに繋がるような観光協会の拠点づくりを検討しながら進めていきたいという今考えておりますのでよろしくをお願いします。

○山本委員長　　福田委員。

○福田委員　　今は運営委員会の話であって、また別で話をします。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　運営関連相関図の中に経営者会議への助言・提言と書いて、矢印があまり書いていないものでカルネコさんが道の駅に対して経営助言すると思うんですが、経営者会議のメンバーは何名で議長は誰なんですか。

○山本委員長　　実延専門監。

○実延専門監　　経営者会議は委託しております町、それから MA さんとが経営に関して議論を協議をするというのを中心にしております。これにつきましては運営委員会とは異なりまして、改めて設置要綱等は行っておりません。あくまでも任意の会議ということで適宜開催をしていきたいと思っておりますし、経営に関わる部分としまして出荷者協議会でありましたり、観光協会、不定期でございますがカルネコ株式会

社様にも時折参与いただきオブザーバー的立場からの助言というのを計画をしておるところでございます。以上です。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　私の認識では経営者会議で月々のチェックをすると聞いておったんですが、それが任意であり議長もわからない。それは月1回やるとか、誰が長で、どうやって月々の毎月チェックをするんですか。これからは町長は一般質問で言われましたよ、毎月チェックしますよという事を表明されましたよ。だからこの経営者会議重要でしょう。だから月の10日にやるとか、15日にやるとか、前後にね。町長も出て、MA も出て、誰々出てやるんだと。担当課長も出るとか。それで経営はどうなのかと。ものすごく重要なところでしょ。カルネコさんも矢印ないけどもカルネコさんそこに助言提言するとなっとるんですよ。それぐらいの位置付けのカルネコさんでしょう。当然カルネコさんも入れるべきでしょ。だから今任意と言われましたけども、それは理解出来ません。

○山本委員長　　中村副町長。

○中村副町長　　今任意という説明をさせてもらいましたけれども、基本的には28年度も毎月1回やっております。今年度もそのようにしております。やっぱりいろんなイベントの中心的なところがある場合だとかいうことがあって、臨時的にそれに加わるという事はありますけれど最低限月1回は行う予定にしておりますし、その中で技術的にはある程度の決算が出来た段階での日にちというところを基軸にしながら開催日を行っていきたいと思っておりますので、体制的には町とすれば私も含めて関係課が参画しておりますし、それから MA さんも今までは駅長が伝えて昨年度の場合ですが来ておりましたけれども、今回と言いましょか最近は何役員の皆さんも加わっていただきながら経営者会議に臨んでいただく形を取っております。またカルネコにつきましても昨年度の場合は常時的なところで来ていただいておりますけれども、今年度の場合は予算的なこともありますけれども適宜そのご参画いただきながら POS レジ或いは POS レジの中身内容ですね、POS レジから出てくる情報あたりだとか、実際の経理の数字だとかいろんな角度からご指摘いただいたりご助言をいただいたりという形の中で経営者会議の方を進めていきたいと思っております。以上です。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　私はこの相関図を見て、日南町、その下に観光協会、それから道の駅

でしょ。私は日南町の真下に経営者会議がくるべきだと思いますよ。それぐらい重要な位置付けだと思いますよ。出荷者協議会とか運営委員会とかありますけれども、それはその下であってあくまで経営者会議が上じゃないですか。日南町の真下ぐらいに。なのに小さく経営者会議と書いてあるので、その辺が納期管理されていないというんですか、いろんな質問確認しましたけどもやっぱり納期を決めてやらなければ。よく民間ではQCDというんですよ。Q品質、Cコスト、Dデリバリーの納期なんですよ。納期が決まっていなかったらずるずるずるずるずれていって、2ヶ月3ヶ月ずれていくわけです。ですから今副町長も言いました。毎月1回やっておるんだったら毎月1回10日にやるとか、10日前後にやるとかそういうことをすれば10日に目指して計算がでたり、事前準備が出来るわけですよ。結果、忙しくて出来なかった、出張が入って出来なかったと。でもこれは経営でしょう。生きているんですから経営は。結果論ばかりではなく生きた経営をしていただきたいわけです。ですから本当に経営者会議をきちっとやられて月々の経営数字を見る、そして次手を打つ、その中でイベントであるとかこういったああそうかそうかというような形になっていかないとだめだと思います。よろしくお願いします。それでバックしますけども、レストランの方が今まで1シート1円のJ-VERされていましたが、今度から5月からは1品1円のオフセットするということを書いてあります。それはいいです。フリーマーケットでは寄付型オフセットはどうされていますか。フリーマーケットで売っている場合。道の駅の中、直売所の中ですね。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 冬期間、寒い暑いという気候の季節の関係もございまして、直近は中で開催をしていたかと思いますが、外部でも開催を行ってきた経過がございます。そのあたりは申告という形を取らせていただいておりますが、売り上げに応じての1円を重ねての1品1円という考え方の中で、申告により納めていただいております。以上です。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 それは本当ですか。フリーマーケットで。そういう説明も一切なかったですよ。私実際に買いましたから。そういう説明も何にもない状態で1円は入っているのかいないのか分からない。それはJ-VERの所に本当に出とるんですか。確認されましたか。想定で答弁されては困りますよ。

○山本委員長 実延専門監。

○実延専門監 外部の皆様、消費者の皆様へは議員ご指摘の通りもっともっと PR に努める必要があるかと思えます。その一方ではその消費いただく勘定について煩雑性を回避するということの中で内に込めているという実情がございます。このあたりはもっと一体的に努めていく必要があるかと思っております。以上です。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 フリーマーケットは大体団体ですらっとありますので、その上にですねフリーマーケットの場合は販売額の中に1円入っていますよという事を明示して下さい。分からないですよ。私は町民だから分かるんですけども、町外の方は全く分からない。外にプラス1円書いてあるけれども、それを謳っておるわけでしょう。それと道の駅の販売される方のそういった理解された上でお願いしたいし、もう一つこのCO2の関係でJ-VERの関係で表彰もいただいたわけですけども、環境管理活動は道の駅はされているのでしょうか。

○山本委員長 木下企画課長。

○木下企画課長 前段ご意見いただきましたフリマ等イベントの1品1円の寄付金につきまして、PRが十分でない部分ご指摘の通りだと思います。今後そういった部分につきましては、しっかりお知らせした上での取り組みにしたいと思えます。ありがとうございます。道の駅施設での環境管理活動につきましては、いわゆる運営者主体の活動としては具体的には出来ておらないと認識をしております。町の取り組みとして、生ごみの堆肥化事業のいわゆる1事業所として参加をしておるという部分につきましてはある意味参加をしているのかもしれませんが、そういった部分を除いてはいわゆる運営面に於いて環境管理活動というのは今現在取り組めてないと認識をしております。

○山本委員長 大西委員。

○大西委員 CO2排出ゼロの道の駅についてはですね、環境管理活動をして下さい。恥ずかしいですよ。CO2の排出量が140tという実績が出ます。それに対して29年度は削減目標を決めて、これが管理活動ですよ。130tへ持って行くのか150tになるのか。それと今さっき言われました生ごみも28年度は何百kだったと、それを堆肥化してほとんどリサイクルしてあるとかそういうのが環境管理活動なんです。もう一つは直売所で廃棄物量これも秤で量って減量化に努めるとかこれが環境管理活動です。当

然電気もそうです。当然売上げが上がれば電気が上がる。そのためには原単位という言葉ご存じでしょうか。環境管理活動をやる場合は原単位という言葉をよく使います。それはここで言いませんけれども、本当に農林水産大臣賞を取られたんですから、自信を持ってちょっとこの1年間環境管理活動を勉強して下さい。以上です。

○山本委員長　その他ございますか。そういたしますと先日行われました、出荷者協議会の件についてご報告をいただきたいと思いますが、久城農林課長。

○久城農林課長　冒頭副町長が申しあげましたように、4月18日に出荷者協議会の通常総会の方を開催しております。当日は議会の方からは久代議員の方に来賓として出席いただいております。お礼を申し上げます。内容と致しましては28年度事業の報告その収支決算そういったようなものが主でありましたけども、規約改正も行ってあります。規約改正の内容といたしましては、昨年中途から地域リーダーというのを設けました。その地域リーダーというのを役員の中に位置づけるという事が決議になっております。これは終わりましたから役員が集まってからの話しではありましたが、定期的に役員及び地域リーダーが集まって毎月第2木曜日に道の駅のホールの方に集まって意見交換を行うという事が決定しております。いろいろご意見、特に道の駅高野のマネージャーの方にご出席いただきまして、いろいろ示唆に富んだアドバイスもいただいております。その中では本当に活発な意見が出ております。そういったような中でまだまだ伸びていくことの出来る体制にあるという事を確信いたしましたので、農林課といたしましても担当課といたしましても、出荷者の皆さんが気持ちよく野菜を出していただける、それで道の駅が自分達の店なんだと認識していただけるような道の駅になるようサポート出来ればと感じたような次第です。155名の会員の皆様の内、65名の方の出席という事で机椅子を追加しなければならないというような状況でありましたことを追加報告させていただきます。以上です。

○山本委員長　ありがとうございます。ここまで全体を通して質疑漏れご意見がございませうでしょうか。久代委員。

○久代副委員長　全体を通じて一番大事なことは、補正予算で例えば300万委託費、3月議会でも出ました。色々会計上処理の仕方もあったけども、やっぱり新年度は本当にこの委託費の中できっちりやるんだと、昨年度は初年度だったからいろんなことで想定外の費用も一部あったかとは思いますが、やっぱり委託形式と委託契約というのはしっかりこの予算があって委託をされるわけですから。他の指定管理に出し

ているところでも委託料を途中で変えるということは、例えば日南邑とかゆきんこ村でも管理委託料を変えないわけではないわけ。日南邑やゆきんこ村が指定管理に出している者から毎月の決算状況までは提出は求めないで、1年間の決算報告を議会も提出してもらおうという状況です。ですからきちっと決めた当初予算で決めた委託料はそれでいくと、そこを委託を受けた MA サービスにも先程来あるようにきちっとした経営者会議等で連携を密にしていられることが非常に大事だと思います。もう一つ同僚委員からもありました農協とか森林組合、商工会あと個人や法人の出荷者の協議会の皆さんが、本当にいろんな知恵を出し合ってみんなで盛り上げていくという事を、町長・副町長が運営協議会の代表だということなのでそれを徹底してもらいたいと思います。ちょっと残念なのは2年目が事業計画が若干経営上の固い数字ということで下げられたけども、やっぱり初年度より2年目の方が実績が上がったという目標をやっぱりきちっと持たれないと、2年目のジंकスというのは私はそういうのは払拭して、右肩上がりで伸ばして行こうという気持ちをね、特に企画課、農林課中心としてその考え方を持って欲しいし、そういうことを町民の皆さんにも訴えていただかないと、むしろ道の駅について不安がられる方もあるのでそこは自信をもって訴えられることが必要じゃないかなと思いますのでよろしくお願いします。

○山本委員長 古都委員。

○古都委員 全体をとということですが、先程同僚委員からの発言があったわけですが、いわゆる運営委員会に朝どれというような話とかそれから施設の供用というようなお話がありました。私も朝どれ会員に入っております、去年は町をあげての道の駅オープンだから朝どれも出荷時期が始まるまで、或いは出荷のない時には協力してあげようという申し合わせでおって協力したつもりであります。しかしながら正直なところ、今日まで行政の方から朝どれに正式に協力要請は一度もいただいた記憶がありません。色々聞きますと職員の方が悪い言葉ですけれども、一本釣りと言いますか電話をかけてうちにも回してくれというような話があったということも聞いております。これが実態であります。それともう1点施設供用という事でございますが、これも設計の段階から協議をしていただいたことは一度もございません。今出来ておるところを見ますと出荷時間は8時過ぎから9時過ぎまでだと思いますが、朝どれで大体50台、それから道の駅で20台が1ヶ所に本当に集まって荷卸が出来るのかと。それについても3月17日の総会で確認をいたしましたけども、全員が無理だろという話で

終わっております。その後3月議会であの裏側の道が町道に編入されました。そうすると通行止めをかけてでもやらないとできない。それと室外機が完成後きれいに付けられまして、トラックも壁際に付けられないというのが実態であります。そういうようなことが事実として起こっておりますので、皆さんに心配をしていただくことはありがたいことですがけれども現実的なことになっておりません。私からいうとそういったことも点検をして次の年に向かわれた方がいいではないかという意見を差し上げたいと思います。

○山本委員長 福田委員。

○福田委員 全般でいいですね。元から聞きますけど、一色さんは道の駅の代行という事ですね。考え方は駅長じゃない代行ですね。わかりました。それと今日道の駅に行ったわけですがレストランが休みだったんです。レストランだけ休みだいう事は誰も知らんですよね、皆さんは。そういう事なんで3ちゃんねると話をしながらね、何であそこに流さんかな。宣伝PRが全然出来とらん。その出来とるのは早い話がイベントばかりです。バンバン出るのは。こういう事は大事な事で、毎日行く人は今日はレストランに行こうかと、行ってみたら休みだったと。2回けっこう食らいましたよ。その前行った時には都合が悪くて休みだったりとか。儲ける気があるかないか、それが1つ。そしてもう1点水曜日にピザを焼いてレストランで食べてもらうという事ですが、このピザは小谷さんが焼くという話しですが、これはレストランの方の人件費ですか。道の駅の販売の方ですか。これちょっと1点聞きたい。もう1つ観光協会の件。さっき課長が説明しましたが、13日にオープンします。議会としては議会だよりも写真撮って出しますから撮影をお願いしたところ、企画課は大丈夫ですと言いました。それで行ってみたら無かった、ありませんと。昨日確かめに行ったんです。そうしたら駅のレジの前に観光協会の机と椅子が来とった。トイレの横が事務所だと聞いておったけど何もない。ただ椅子が並べてあってパンフレットがあった。ただそれだけ。事務所はどこにあげるんですか大体。皆さんが言う事と話が全然違う、議会で全然この話しとらんでしょ。事務所はどこにあるんですか、実際。それも1点、観光協会の電話はあそこにはないんですわ。固定電話が。予算は12月か1月に決まっとるでしょう。観光協会移動しますよという事になれば、固定電話を予約するべきじゃないかな。それもしてない。観光協会のパンフレットを見ましたら、その電話の取次ぎ電話が企画課になっとる。企画課に聞いたら企画課はうちが受けて回すんだという話

しでした。何の為にあそこに持って行ったんですかな。仕事が出来んのにな、実際企画の仕事がどんどんどん遅れていますよ。はっきり言いますけど。観光協会のまだ仕事するんですか今から。おかしいじゃないかな。企画が今後しないように観光協会別に建てますよという事でしょ。電話機もあそこにあるべきでしょ。実際。未だに電話がないでしょ。人も居らんでしょ今日行ったら。ただ看板が観光協会とあるばかり。それからレジの前に人が溜まるところになんであんなところに来ますかな。観光協会の職員1人も居らん。事務所がどこにあるか分からん。ただ机が1個あっただけ。トイレの所に行ったらただ長椅子でパンフレットがあった。ただそれだけ。看板はどこにもない。どういう気持ちかな。

○山本委員長 木下企画課長。

○木下企画課長 何点かご意見ご質問をいただいております。レストランにつきましては、本日の状況を見ていただいたと思いますけども、実は周知が十分出来ておりませんでうちの方への報告も若干遅れて周知が出来なかったという事もありますけども、冒頭実延専門監の方からも報告いたしましたけども、毎週水曜日をピザの日という事でレストラン営業につきましてはピザ限定のサービスをするという事で店をお休みにしているわけではございません。レストランの中でピザを食べていただけるような営業の仕方をされておるという事で報告を受けております。これにつきましてはレストラン営業自体の効率化という事も含めまして、4月5月末まで趣向的にやってみたいということで報告を受けておる所でございます。これをずっと続けるという前提での話ではなく、やってみたいという事で報告を受けておるところでございます。実際の2点目のピザをどなたが焼かれているのかというところにつきましてはちょっと確認が取れておりませんので、確認を取りたいと思っておるところでございます。十分なPRが出来ないままでの実施になってしましまして、申しわけなく思っておるところでございます。また、観光協会についてのご意見ご質問でございます。先程違う案件での中での答弁にも重なるところがございますけれども、予算をいただいて移転をするという事で決めてはおったわけですが、移転準備が十分出来ておらないままでの移転になってしまったという事で、電話でありますとか事務所の位置でありますとかということが不安定な状況での移転になりましたが、主旨としては行楽シーズンに向けていち早く1日でも早く観光案内が出来る窓口を情報発信拠点である道の駅に移したいという思いからでございます。その部分についてはご理解いただければあ

りがたいと思っております。電話等につきましてもただいま手配をして近日中には設置をする予定にしております。事務所等につきましても前段でお話をしましたように、基本は県と話をしまして情報発信コーナーというところを基本にしておりますけども、運営者であります MA サービスさんの方からよりお客様に近いところでの観光のオペレーションであるとか、例えば事務所も供用して MA さんと観光協会をもっと情報交換した方がいいじゃないかという提案も受けておまして、そういったことも含めて今後いろいろ検討をして参りたいと思っております。電話が出来ていない状況の中で当面の問い合わせ窓口が企画課の電話番号になっているという状況については良い事ではないと思っておりますけれども、当然企画課も観光行政の担当部門でございます。問い合わせに対して失礼や分からないという事がないような形での対応で安定するまで続けたいと思っておりますし、固定の電話が出来ました暁にはそちらあたりもしっかり PR をして、移転の方が混乱なく出来るように努めたいと思っております。至らぬ点があったことはお詫びしながらご理解いただければと思っております。宜しくお願い致します。

○山本委員長 福田委員。

○福田委員 今そういう答弁されましたけど、観光協会の移転する場所は12月か1月時点でわかっとなるでしょ。だったら準備が出来るまでは企画の中に入れておけばいいじゃないかな。これまで通りで机を置いてそこでやればいいじゃない。事務所が出来るまでは。道の駅がいいか悪いか知らんけど、レジの横ですよ。行って見たかな実際。レジを打ちかければ人が通れんよ、あそこは。そこでいいと思いませんか。誰が考えても邪魔になる所ですよ。準備が出来てなかったら出来なかったで仕方ないです。一言13日写真写しに行く時、連絡がもらえたら。全然繋がりが無い。言う事は結構言いなるけど、実際出来ていない。それとピザの件だけども本人に聞きました、今日行って。そしたら私が焼くんだという話しでしたよ。そのお金はどこから出るんですか。それは MA サービスのレストランの方から出すんですね、お金は。そうなりますよね。それをちょっと教えて。

○山本委員長 木下企画課長。

○木下企画課長 観光協会の部分につきましては、準備がしっかりできてから移転という事も内部では協議をいたしました。いたしましたけど、結果としてやはり人がいらっしゃるような時期にしっかり窓口対応をしたいという強い意志もありまして、こういう対応を取らせていただきました。色々と支障が出ていますことにつきましては

お詫びをいたしまして、一日も早く安定をするような形を取り組んでいきたいと思っております。また、観光案内の位置につきましても、色々なご意見をいただいております。今のところがベストかどうかはこれから判断をさせていただくということで、やはりやってみるといところで反応をみるというところも必要だと思いますので、必ずここでということではなくて色々試行をしながらよりサービスが向上するような観光の案内について検討して参りたいと思っております。最後のピザの部分につきましては、こちらでも詳細を確認した上で対応したいと思っております。よろしくお願ひします。

○山本委員長 恵比奈委員。

○恵比奈委員 まずさっきの観光協会のことですけれども、企画課の中で職員の間できちんと観光協会は道の駅に全て持っていくんだという考えの統一が図れておりますでしょうか。傍から今その話を聞いておりますとやり取りを聞いておりますと、観光案内をする人は道の駅に行って観光案内の窓口はあそこに置くけれども、観光協会そのものの本体業務は役場の中にずっと置くんだよというふうに何となく聞こえてくるような気がいたします。そこら辺のことは2ヶ所に観光協会が分かれて窓口係があそこに行くだけで、たまたま用事があって今日は居ることができなかったのも機だけがあって空っぽだったというふうに聞こえなくもないのですが、そこらへんはいかがでしょうか。それからレストランのことですけれども、2ヶ月間やってみて反応をみたいということですが、人員配置とかそれから売上と費用対効果ということから考えると、平日の水曜日にあっさり休んではどうかと思われることも分ります。分りますけど道の駅の直売所とレストランというものはほとんどお客さんから取ってみれば一帯でありまして、道の駅が休みで直売所が休みでないのにレストランが休み。それも休みではないというふうに課長おっしゃいましたけれども、あそこのドアの前に立ってもドアが開かないのでどうしたことかと思ったら、中から出て来られて今日はレストランはお休みですと言われたので休みだと私達は感じておりますし、それからピザを中で食べていただいて結構ですのでと言ってなるほど焼いておられました。それはそれでいいですけれども、レストランの費用対効果を考えて効率化して行こうと考えられるなら、やはりレストランを自由に出入りできる設定にして、自動ドアの電源を切ったりされずに自由に入れるようにして、なおかつ張り紙をきちんとされて、若い人はピザだけでいいでしょうけれども、やはり沢山の方がいろんな方が来られることを

考えるとピザだけでは魅力がないと思います。前から思っているんですが、よその道の駅に行くと直売所に直ぐに食べれるものが沢山売ってある。けれども日南町の道の駅にはほとんどありません。例えば出荷者協議会の方にもお願いされる等して、近くの方それから商工会の飲食業を営まれている方等にも協力を求められて、パックに入った直ぐに食べれる物。例えばやわらかいお餅であるとか、おこわの温かいものであるとか、握りたてのおにぎりであるとか、そういったバラエティに富んだ日南町の良さを生かした日南町の食材を使ったものを豊富に並べていただいて、レストランがある時にそのことをされると競合するでしょうから、レストランで食べてもらえなくなるということもあるでしょうが。レストラン1週間に1回そういうことをやりたいとおっしゃるなら、その日をめがけて皆さんに協力を求めて色々出していただいて、それを自由にレストランに持って入って休憩して食べていただくというような配慮がないと、2ヶ月間やってみる間にやっぱりみんながいけん言いなるけん6月からまたレストラン始めようかと言われても、もう誰も当てにしなくなります。商売というものはそういうものです。流行らなくてもずっと続けて行かないと当てにされるお店でないとお客さんは来ません。そここのところをきちんとやはり MA さんときちんと話し合いをされて、経営者会議でもって後から聞きました、知りませんでしたなどというような事は今後二度とないようにしていただきたいと思いますがいかがでしょうか。

○山本委員長 木下企画課長。

○木下企画課長 ご意見ありがとうございます。まず1点目の観光協会の拠点につきましては、企画課の中では考え方として拠点を移すんだという考え方でおります。そちらについては声としてどういった声があったのか分かりませんが、そういったことで確認意思を統一しておるつもりでございます。レストランにつきまして色々ご意見いただきました。ありがとうございます。本日の対応という部分につきましては、今お話いただいたようなことについては再度確認をしたいと思っておりますし、こちらの方はレストランのドアが開かないという状態にされるということは考えておりませんでした。大変失礼をいたしました。また従業員の方にも十分趣旨が伝わっていたのかどうかも含めて確認をしたいと思っております。ご意見いただいたご提案いただいた水曜日の対応につきましても、それをいつまで続けるかという検討も含めて経営者会議等で検討協議をして参りたいと思っております。ありがとうございます。

○山本委員長 その他ございますか。荒木委員。

○荒木委員　話をちょっと戻すようで申しわけありませんけど、観光協会の事務所で案内所に移すという件で何回も行って見たんですよ。案内所ですから24時間当然開いていますよね。そうするとカウンターを付けて、あと物置に机とパソコンなんか置いておかないと、勝手に夜中は管理ができないし、それからカウンターでも付けなければとても案内所としては使えないしというようなことを何回か考えたんですけど、実際中の例えば案内所の中のレイアウトなんかは考えたことがあるんですか。

○山本委員長　木下企画課長。

○木下企画課長　実際考えてレイアウト表示も検討した上で移転を考えておりましたが、その中で他の観光のオペレーションの仕方もあるのではないかというご意見をいただいたり、内部でも協議をした上で今暫定的な移転をしたところでございます。ご理解をいただきますようよろしくお願いします。

○山本委員長　その他ございますか。ないようでしたら、道の駅にちなみ日野川の郷の事業については以上で終わりたいと思いますが、続きまして社会体育館の建築について教育課の説明を受けたいと思いますが、準備の都合上若干休憩を取りたいと思います。そういたしますと再開は午後3時20分からといたします。

(休憩　15：20～15：20)

○山本委員長　会議を再開します。続きまして社会体育館建築について説明をお願いします。丸山教育長。

○丸山教育長　失礼いたします。平成29年度の予算に関しまして社会体育館につきましては、小中学校の第2体育館というような言い方をしておるところでありますけれども、この建設に関しまして基本的な考え方については当初予算等でご理解をいただいております。教育委員会また担当課としての現時点での社会体育館の建築についてお話をしておきたいと思ひまして本日説明に上がらせていただきましたけれども、現時点に置きましては当初予算審査でも申し上げましたところありますけれども、本日は今後の予定を申し上げたいと思っておりますので報告をしたいと思っております。基本的には今年の5月頃には、5月は近いわけでありまして、設計の調達広告を行いたいと思っております。まだ現在におきましても起工伺いも立てておりませんので、本当に私達の教育委員会の考え方のみでありますけれども、現在のところ来月に入りますと早速に設計の調達広告を行いたいと思っております。6月頃には設計の業者決定を行いたいと思っております。その次の7月には設計業

務を始めたいと思っております。設計は11月頃には完成をいたしまして、11月中には工事をやりたいと思っております。事務を進めたいと思っております。12月頃には入札をしたいと思っております。できましたら12月の議会に於いて、工事の契約を上程させていただいて議決をしていただいて工事に入りたいと考えております。来年になりますけれども30年の3月中には現在あります体育館の解体を終えたいと考えております。4月から本体工事に入りまして、30年の12月には完成したいというふうな現下、教育委員会としては考えておりまして今後起工伺い等で町長部局等々と協議をして参りたいと考えておるところであります。規模につきましては以前にも皆さんにお配りしまして、日南町の社会体育施設検討会まとめというものを作らせていただきまして見ていただいたところでもありますけれども、基本的にはそれを元に設計をしてもらおうかと考えておるところであります。ただしその要望全て入れますと大変な事業になるために、複合施設としてあがってございました健康増進施設や武道館というものは組み入れないという考え方を持っておるところであります。ただし現在の施設よりも色々な要望もありましたので、多少縦横とも広く取れないかなという考え方を担当者私達は考えておるところでありまして、それあたりを検討しながら設計をしていただけたらなと考えているところでもあります。それと中心地構想の検討委員会でもありますけれども、この震、生山地域には多くの方が一時的に避難生活をしていただく施設がありません。大雨等々警報発令中の災害につきましても、避難先としては課題や問題があるとは思いますが、それが落ち着いて今度建てる社会体育館にも被害がなかったときには、一時的に避難生活を送る施設は必要ではなかろうかと考えておりまして、その防災面等も取り入れた施設を計画に設計に入れたらと考えておるところがあります。これが大体の構想であります。従いましてそういうものを取り入れたものの設計を今後進めていきたいと考えておるところでありまして、その部分についてご理解とまたご協力ご支援ご指導をいただけたらと考えておるところであります。従いまして、現在何も進んでいないじゃないかということがありますけれども、早速起工伺いを受けて事業に着手していきたいと思っておりますのでご理解とご協力よろしくお願いたします。以上です。

○山本委員長　　ただいま説明をしていただきましたが、これにつきまして質疑ご意見がございますでしょうか。近藤委員。

○近藤委員　　先般同僚委員の一般質問の中で木造という日南町らしさを出してとい

う考えを検討してみるとというような回答があったように覚えておりますが、その点についてはどのような対応を今の時点で考えておられますか。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 現在木造の方に関しましては、構造に関しましては教育長も先程申しましたように、避難所というベースを考えた時にやはり RC 造というものを考えていきたいと思っております。木造に関しましては最大限内装材、屋根材含めまして検討していきたいと思っております。以上です。

○山本委員長 その他、大西委員。

○大西委員 体育館を新築なんですけど、私突飛な話じゃないんですけども、本当に総合的に立地条件そこが現在の体育館の所が本当にいいのかなど。防災拠点、いろんな施設、避難と言えは私の私案ですけども、ここの文化ホールのところにある広場がございます。ここに体育館を建ててはどうかと思います。なぜならば駐車場もありイベント広場を潰すんじゃなくて、その体育館をイベント広場にするわけです、中をね。雨天でも OK でございます。それから避難所は多目的ホール、議会も使えます。それから防災会議室もございます。橋もあそこに行くなら狭い橋が2本ありますけども、道も交差できない道の所です。本当に立地条件、上から見た時にどうなのか。防災それからイベントで集まっても駐車場がここは広いです。あそこは狭いです。2階建てにしない限りグラウンド等で何かやるときに駐車場がいっぱいです。色んなことを総合的に見た時にせつかくこれから50年ぐらいまた使うわけです。そうするならばイベント広場を潰すのではなくて体育館をすれば、その中はイベント広場にできるわけです。そしたら食のバザールどうなのか。できます。ただし、火を使うものは文化ホールの前でいいですよ。文化ホールの前で。そこで火を使い焼きそばであるとかいろんなものやれば良いわけです。そのように上から見れば平面的な体育館の広さは十分取れると思っておりますが、そういった今から設計をまだ構想段階だというならば、そういったことも一案今言われる防災も含めた上で、駐車場も立地条件も良い。総合的にみて検討されてはどうでしょうか。

○山本委員長 丸山教育長。

○丸山教育長 ご意見ありがとうございます。検討委員会で色々な話が出て参りました。全て会に出席したわけでありまして、一時には私達が先導したわけではございませんけども、小学校中学校の第2体育館、先程も言いました通り第2体育館という

ところでの位置付けを教育委員会としては是非考えて欲しいというところがあります。先程言われた駐車場等々につきましても色々と検討をしております。周辺を考えて全体的にどのくらいの確保ができるかというところも設計段階から色々と検討をしていかなければならないと思っております。先程の話の中で文化ホール、この庁舎文化センターの周辺というところを本当に町民全体の考え方としてはよろしいと思えますけれども、学校、私達の教育委員会サイドとしての考え方としては、是非小学校中学校の周辺に建てていただいて、移動時間も出来たら少なくするというところをお願いをしたいと考えております。その検討委員会の中でも話が出た中で、先程申し上げました通り健康増進施設の部分を入れたらどうかというような話がありまして、いろいろと話をしたわけでありましてその部分はまた別に考えよう、とにかく今の社会体育館の耐震基準に達していないのでそれを第一義として考えるならば、その健康増進施設等々につきましましてはやっぱり必要であると思うので、この例えば文化センターの近くとか大田原の近くとか病院の近くとかいうような意見も出ておりました。ですので、大西委員さんのおっしゃること全く話がなかったわけでもありませんし、皆さんの意見の中にもあったと理解をしております。そういう総合的なことを考えた中で、私共は現在の位置に同規模のものを改築すると、同じものを建てていくという考え方の元に現在進めておりますのでご理解をいただきたいと思えます。

○山本委員長　　大西委員。

○大西委員　　私は本当に何のために建てるんだと。50年先まで使うところですよ。課題は何かというと交通です。一つは。それで今小学校中学校の第2体育館的な位置付け言われましたけれども、授業につきましましては今これから今後9クラスになるわけですね。授業時間あと放課後のクラブ活動ですね。夜間はほとんど使わないと思えます。夜間は社会人が使ったりします。そして土日のイベントとかいった時、そういうことを統合的にみた時に本当に立地条件はそこがいいんでしょうかと。本当に使い勝手というんですか駐車場、私も実際野球をやったり体育館でやったりする時がありますけれども、本当に将来見た時に本当にどうなのか。道を拡張するとか橋を交差できるような道を橋を作るならまだマシですけれども。ここでしたら本当に駐車場も広いし良いところと悪いところと色々あるので、本当に総合的に町長も入れてもう1回よく検討していただいた方がいいんじゃないか。これでいくと頭使わなくていいわけですね。今と同じ、同じ場所。今までの課題をどう解決されたのかわからない。私はい

ろんな中見た時に本当にどうあるべきかと、白紙の状態を考えるべきだと。今そこにあるべきだということだけに走っておられるんじゃないかと。小中学校も全て1クラスということになります。稼働率のこともあります。2つも体育館が本当にいるのかどうか。距離と言われましたけれども、文化ホールでも来れる場合がありますからそのままバスで帰れば良いわけですけどね。その辺ちょっと総合的にもうちょっと検討してください。一旦設計が入ったらフワーといきますからね。今が1番大事だと思いますのでご検討をお願いします。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 先程教育長の方から避難所としての運用について説明がありました。緊急的と言いましょるか一時的な避難所として使うのではなくて、状態が安定した後には避難所として使うということだったんですけれども、そういう運用がきちんと周知されて運用ができれば良いとは思いますが、しかしながらその地域は土砂災害特別警戒区域には入っていませんがぎりぎりのところですよ。土砂災害警戒区域の中でもありますし、急傾斜地、崩落危険箇所の中でもあります。加えて洪水時には1m50cm浸水と言いましょるか、水が滞留する地域にも指定をされております。そういったところに本当に避難所として防災上の避難所として適切かどうかという事になると非常に疑問に思うわけなんですけれども、単純に社会体育館として建設する場合とそうやって避難所として整備をする場合との費用はどれぐらい差がつくものなのか、或いは設計上どれぐらい違ってくるのかその辺について説明をお願いします。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 財源の方になります。今回、緊急防災減災事業債というのを活用するようになります。よく起債で使っております過疎対策事業債とほぼ一緒100%の充当率に対しまして、元利償還70%の交付税参入率になる起債になっております。社会体育館としてという事と防災というような財源を単純に比較した時には、同じ参入率になって参りますので大差はないかと思いますが、現状今社会体育館につきましては避難所としても役割として担っております。委員が言われました大変な危険な場所ではないかという部分も確かにありますが、長期間に渡って避難する場所がこの震地内にはありませんので、そういう面からも避難所としてうまく活用できるような設計というのを考えて今後いければなと思っております。以上です。

○山本委員長 坪倉委員。

○坪倉委員 避難所を兼ねた場合には設計上どういう違いが出てくるのかということと、財源の話をされましたけども建設費がどれぐらい変わってくるのかっていうところについてはいかがですか。

○山本委員長 榎尾主幹。

○榎尾主幹 基本的な設計ですとか建築にかかるコストに関しましては、ほぼ一緒と考えております。先程ちょっと申し忘れてましたが唯一違うところ償還の年数がちょっと違っておまして、過疎債ですと12年となっております。

○山本委員長 丸山教育長。

○丸山教育長 詳しいところまだ進めておりませんので分りませんが、その部屋とか要するにこういう設備が必要だというようなものにつきましても、考え方として備蓄倉庫等々のなければならぬというものにつきましても、現在その社会体育館を考えておるところの倉庫とかいろんなことを考えて、それは備蓄ができたりそれからその施設等々の人がシャワーを、風呂はないと思いますけどもシャワーが必要であったりトイレがこのぐらい必要であったりという部分の中での基本的な考え方、設計、費用等については私たちが考えるのに現在考えておるのにその費用等々については、そう変わりはないと私たちは認識をしておるところであります。

○山本委員長 その他ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○山本委員長 ないようでしたら、社会体育館建築についての調査は以上で終わりたいと思います。教育長どうもありがとうございました。その他といたしまして何かございますでしょうか。よろしいですか。そうしますと本日の会議は以上で終了いたします。お疲れ様でした。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 年 月 日

委員長

副委員長